

令和4年度 園評価書

園番号 7

園名 清沢こども園

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A：よくできている B：概ねできている、C：あまりできていない、D：できていない)

1 教育・保育目標	2 重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員会から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
心豊かで たくましい子	夢中になって遊ぶ (主体性を高める)	① 友達の良いさを認めあい、生活や遊びを自分たちでつくっていく (自信をもって行動する)	・自分たちで園生活を進めているようになりつつある。友だちや保育者から認められる場を増やしていったことで、自信がつき、自ら行動できるようになってきて ・遊びや生活を通し、実現に結びつかない事もあるが、自分たちで生活を進めているように見えるようになった	A	A	・年度当初の頃の園児の姿を比べると、それぞれの園児が自分に自信を持ち、たくましく成長しているように感じる。さらさら劇場での協同もすばらしかった ・園児が少ない中、我を出さず、お互い思い合い、助け合っている様子は感心する。そんな中でも自分の意見を伝えられるのは素晴らしいです ・10月の評議員会での園評価と比べると全てに成長している事がうかがわれる。自ら行動し、友だちの思いを受け入れ、元気に過ごしている様子に嬉しく思います	・人との関わり方や、自己発揮の仕方を意識して各学年やその時期の姿に見合った形で保育計画を練っていく ・計画的に交流の場を設けていく。小学校、他園と交流する対象によって目的、意図を明確にし職員間で共有していく。また、交流先にも活動の意図を伝えていく ・来年度も少人数 (年長1名、年少2名) であるが、少人数を強みとして考えていく意識を持つ ・子どもの発信に対し、保育者がどんな役として関わるのか、大人である保育者が試行錯誤する姿も見せていくことで、躊躇せず自分を出せるようにしていく ・毎月の月案、期案ごとの振り返りや研修の手立てについて園内研修の中で確認し、課題確認、改善をしていく
		② 自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れたりして折り合いをつけながら遊びを進める (思いやり)	・子どもたちなりに気持ちに折り合いをつけようとする姿が見られる。場面に応じて友だちに合わせていこうとし、協同性に繋がっていく期待が感じられる ・遊びや生活の中で、思いを出し合う時間を十分に取ったことで自分の思いを率直に伝えることや、友だちの思いを受け入れることができるようになってきている ・友だちと違う考えや思い伝えてみようとする姿が見られるようになった	A	A	・子どもたちの好きな“物”“事”を中心に様々なことに挑戦させてくれている (忍者シアターやあつくんシアターなど…) ・園庭を使えるようになってから、更にのびのびとしている姿が見られた	
		③ 自分のことは自分で行い、戸外遊びや園外保育を通してのびのびと遊ぶ。(元氣な子)	・2歳児も園生活が身に付き生き生きと遊べるようになってきている。寒い季節ならではの遊びも意欲的に楽しむ姿が見られた (霜柱・氷) ・ (園庭に出られるようになってからは) 子どもたちがルールを考えたオリジナル鬼ごっこや忍者の修行のイメージで体を動かす遊びを思い切り楽しめた ・2歳児ができないことに気づくと声をかけたり、助けたりする姿が見られた (身の回りのことなど)	A	A		

II 各領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員会から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
1 こども園における教育及び保育	(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	④ 1人1人の発達を理解し、今、付けたい力と育とうとしている力を理解し、豊かな育ちがつながる保育をする	・毎月の指導計画立案時には今育とうとしている力、清沢の環境で叶えられるもの、願う姿を記入し職員間で検討し共通理解のもと保育することができた ・園内研修に限らず、日々子どもたちの姿や育ちを職員間で共有出来ている。少人数の良いさを活かして丁寧な援助が出来た ・担任でなくても日々の生活の中で個々の育ちや姿について職員間で共有できた	A	A	④・園児それぞれの発達段階に応じた保育が展開されている ・職員間での共有と丁寧な援助ができています。嬉しく思います ・5月の運動会、小学生にのまれることなく一生懸命頑張る姿がかわいかった ・話し方ひとつでもまわりの刺激が入らないように目を見て話す等、相手に伝わるような対応が良い ・さらさら劇場もそれぞれの年齢でできることを考えられていて良かった ・2歳児クラスは恥ずかしがりながらも上手にできて、年中さんは一人でちゃんと発表できてすごいと思った ・年長さんはオリジナルストーリーをみんなで考え作り上げたことはすばらしい！ 見ている方にも伝わったと思う 先生方が一人ひとりの園児と本気で向き合っていると思います	・園の重点目標を視点として、今の子どもの姿に充てた保育計画を立案→振り返り→課題、改善、共有のサイクルを作っていく ・3人の育っている姿を毎月の会議の中で確認し合うとともに育とうとする姿に見通しを持ち、必要な援助や関わりを明確にして共有していく ・3人の思いや頑張り、育っている姿に気づき、毎月の会議で職員間で共有する。また、この先伸ばしていきたいことや関わり方を明確にし、実践していく ・一人ひとりの発達や生活リズムを把握し、個々にあった声かけや援助を丁寧に行い、安定した生活リズムの保障をしていく ・清沢の良さを意識し、季節、自然を生かした遊びを取り入れていく ・清沢マップ (こども園版) を作り、自然の変化や、生きもの、散歩場所、地域との交流など網羅していくものを年間かけて完成させていく
	(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	⑤ 1人1人の生活のつながりや発達を配慮しながら保育を行う	・各家庭の生活環境、リズムを把握し、寄り添い、それぞれの家庭に必要な援助を丁寧に行った ・多様性や各家庭の考え方を落とし込み尊重すること、家庭内での子どもとの関わりや対応について理解をしてもらう事のバランスが課題である ・家庭との連絡を密にし、職員間でも共有できているが、シフトや勤務時間の関係で直接話ができない状況もあり課題である	A	A	⑤・公開保育時に、園児へ支援する職員の姿から、個々の育ちに対応した保育が行われていることがうかがえた ・各家庭に必要な援助を丁寧に行ってきたとの事。ありがとうございます ・台風後、グラウンドが使えなくて大変だったと思いましたが、第2部の運動会でも室内でいろいろ工夫された競技は素晴らしかった。また、5月の時とは違い、園児らしさが見れて良かった	
	(3)環境を通して行う教育及び保育	⑥ 身近な自然環境を保育に効果的に取り入れ主体的にかかわり豊かな体験ができる	・職員自ら、四季の移り変わりをあらゆる自然の変化から感じ取り、遊びや生活の主軸として保育を展開することを意識してきた ・台風の影響で秋の自然を感じられる時に外には出られなかったが、見たり、風を感じたり、園外保育時に季節が感じられる仕掛けをするなど発想を変えた保育ができた ・季節や自然を感じられる一五感の育ち。清沢ならではの保育に活かされている	A	A	⑥・こども園よりから、清沢の四季に応じた教育及び保育が展開されていることが理解できた ・台風の影響でグラウンドがしばらく使えずご苦労されたと思います ・園外保育など自然とのふれあいの場を多く取り入れている所がとても良いと思う ⑦・公開保育時などの園の様子から、安心・安全を優先した取組が行われていることを感じた ・入口の錠の追加など事故防止への意識が上がっている ・2歳児入所でも変更すべき点もあり、ご苦労さまでした ⑧園児の身だしなみなどの様子から、発達段階に応じた基本的な生活習慣が身に付きつつあることがわかった ・10月に比べ、成長指定していると感じる。食への興味、意欲に繋がっている ・自分たちの育てた物でのクッキングは“食べてみよう”という気持ちを持ちやすい ⑨・学級ごとのたよりから、子ども一人ひとりの興味・関心・特性等に応じた支援がなされ、子どもの健やかな成長に繋がっていることがうかがえた ・家庭との連携の難しさがあるようですね。率直に話し合うしかないと思います ・少人数という事もあり、一人ひとりのペースを大切にしてくれていると感じる。大人数や時間への意識が持てるようになった良い ⑩・運動会やさらさら劇場、公開保育での職員の動きから、お互いにのりしろのある仕事をされ、組織として機能していることがうかがえた ・振り返りや次年度に向けての話し合いもできているよう良いと思います ⑪・こども園の教育・保育活動の充実ぶりが、職員研修の成果の賜物ではないかと感じた ・週1回の研修を確実に実施。すばらしい。10月は全員「B」今回「A」の評価ががんばった ⑫・運動会やさらさら劇場、学級のたよりの子どもの表情から自己肯定感が高まっていることを感じた ・それぞれの得意を“見せる”場もあり、更に頑張ろう！とか自信につながっている ・自己肯定感の高まり、チャレンジする姿が見られる。すごいですね ⑬・こども園の行事に参加している保護者や家族の雰囲気からこども園との間に信頼関係が築かれていることがうかがえた ・担任でない先生からも今日の様子を伝えてくれる (家とは違う一面も聞ける) ・Ⅱ-4同様家庭との連携は難しい面もあり、ご苦労されていますね ⑭・清沢小学校との連携は、自然な形でできているように思います。他園との交流もこども園より丁寧に行われていることがわかった ・他のこども園との交流にて、いつもより多くの人数で遊べて、いつもと違う遊びや更なる気づきが学べている ⑮・10月は全員「B」今回全員「A」の評価。連携はとれていると思います ⑯・こども園よりを通して、こども園の現在について、地域への情報発信ができていようと感じている ・今後、子どもの人数が減っていくことが心配です ・手作りカレンダーの配布は良い事ですね。コロナの関係で一般の方が気軽に園に足を運ぶ状況ではないと思いますが、何かの形で気軽に何えるようになるといいですね	
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	⑦ 安心安全なこども園になるようにヒヤリハットの共有・様々な場を設定した訓練を計画的に行う	・職員の人数も少なく安全第一に考えながら、想定外の対応を瞬時にする難しさや責任を改めて感じている ・避難訓練の前と後に役割分担や2歳児入所でも変更すべき点などを話し合い共有できた ・ケガがないように危険な箇所の共有ができています。様々な状況を想定した避難訓練の実施し保育者一人ひとりの意識が高まった	B	A	⑦・公開保育時などの園の様子から、安心・安全を優先した取組が行われていることを感じた ・入口の錠の追加など事故防止への意識が上がっている ・2歳児入所でも変更すべき点もあり、ご苦労さまでした ⑧園児の身だしなみなどの様子から、発達段階に応じた基本的な生活習慣が身に付きつつあることがわかった ・10月に比べ、成長指定していると感じる。食への興味、意欲に繋がっている ・自分たちの育てた物でのクッキングは“食べてみよう”という気持ちを持ちやすい ⑨・学級ごとのたよりから、子ども一人ひとりの興味・関心・特性等に応じた支援がなされ、子どもの健やかな成長に繋がっていることがうかがえた ・家庭との連携の難しさがあるようですね。率直に話し合うしかないと思います ・少人数という事もあり、一人ひとりのペースを大切にしてくれていると感じる。大人数や時間への意識が持てるようになった良い ⑩・運動会やさらさら劇場、公開保育での職員の動きから、お互いにのりしろのある仕事をされ、組織として機能していることがうかがえた ・振り返りや次年度に向けての話し合いもできているよう良いと思います ⑪・こども園の教育・保育活動の充実ぶりが、職員研修の成果の賜物ではないかと感じた ・週1回の研修を確実に実施。すばらしい。10月は全員「B」今回「A」の評価ががんばった ⑫・運動会やさらさら劇場、学級のたよりの子どもの表情から自己肯定感が高まっていることを感じた ・それぞれの得意を“見せる”場もあり、更に頑張ろう！とか自信につながっている ・自己肯定感の高まり、チャレンジする姿が見られる。すごいですね ⑬・こども園の行事に参加している保護者や家族の雰囲気からこども園との間に信頼関係が築かれていることがうかがえた ・担任でない先生からも今日の様子を伝えてくれる (家とは違う一面も聞ける) ・Ⅱ-4同様家庭との連携は難しい面もあり、ご苦労されていますね ⑭・清沢小学校との連携は、自然な形でできているように思います。他園との交流もこども園より丁寧に行われていることがわかった ・他のこども園との交流にて、いつもより多くの人数で遊べて、いつもと違う遊びや更なる気づきが学べている ⑮・10月は全員「B」今回全員「A」の評価。連携はとれていると思います ⑯・こども園よりを通して、こども園の現在について、地域への情報発信ができていようと感じている ・今後、子どもの人数が減っていくことが心配です ・手作りカレンダーの配布は良い事ですね。コロナの関係で一般の方が気軽に園に足を運ぶ状況ではないと思いますが、何かの形で気軽に何えるようになるといいですね	
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	⑧ 基本的な生活習慣が身につく、健康で楽しいこども園生活が送れるように指導する。	・入園～卒園まで日々の積み重ね、一進一退繰り返しながら自分のペースで、自分の体の健康について受け止め、身につけてきている ・日々の声掛けで食への興味が増し、何でも食べてみようとする気持ちが育ちつつある ・2歳児は園生活の中で身辺自立が少しずつできるようになってきている ・食育の日やクッキング活動を通して、学年による違いはあるものの食への興味や意欲に繋がってきている	A	A	⑧・入園～卒園まで日々の積み重ね、一進一退繰り返しながら自分のペースで、自分の体の健康について受け止め、身につけてきている ・日々の声掛けで食への興味が増し、何でも食べてみようとする気持ちが育ちつつある ・2歳児は園生活の中で身辺自立が少しずつできるようになってきている ・食育の日やクッキング活動を通して、学年による違いはあるものの食への興味や意欲に繋がってきている	・子どもと一緒に先の見通しを持って、栽培から収穫、調理 (準備・片付け)、食 (いただく) までを責任をもって行っていく ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の大切さを家庭を巻き込んだ形での発信方法を工夫していく
4 特別支援教育・保育	(1)支援体制づくりの推進	⑨ 1人1人の発達や特性に合わせた、指導計画の作成、家庭との共通理解をして進めていく。	・個々の確かな育ちは感じられる。家庭、園での経験と遊びが相互に繋がる機会も増えてきている。反面、各家庭の考え方も様々なので、どこまでの育ちを目指していくのか等難しさも感じる ・少人数の良いさを活かして、園全体で連携した支援が行えている	A	A	⑨・個々の確かな育ちが感じられる。家庭、園での経験と遊びが相互に繋がる機会も増えてきている。反面、各家庭の考え方も様々なので、どこまでの育ちを自分目指していくのか等難しさも感じる ・少人数の良いさを活かして、園全体で連携した支援が行えている	・次年度も少人数なので、子どもの現状、先を見通した子どもの育ち、願い、意図を明確にし、必要な援助や保護者との連携についての検討会を計画的に行っていく
5 組織運営	(1)組織体制の充実	⑩ 全職員が園運営に対して共通理解しPDCAサイクルを基盤にし重点目標実現に向け、見通しをもって園運営を行う	・課題となっていた実施後の振り返りと次年度に向けての話し合いを行い、PDCAサイクルを意識して園運営ができた ・職員会議や園内研修で話し合いや意見交換ができています	A	A	⑩・運動会やさらさら劇場、公開保育での職員の動きから、お互いにのりしろのある仕事をされ、組織として機能していることがうかがえた ・振り返りや次年度に向けての話し合いもできているよう良いと思います ⑪・こども園の教育・保育活動の充実ぶりが、職員研修の成果の賜物ではないかと感じた ・週1回の研修を確実に実施。すばらしい。10月は全員「B」今回「A」の評価ががんばった ⑫・運動会やさらさら劇場、学級のたよりの子どもの表情から自己肯定感が高まっていることを感じた ・それぞれの得意を“見せる”場もあり、更に頑張ろう！とか自信につながっている ・自己肯定感の高まり、チャレンジする姿が見られる。すごいですね ⑬・こども園の行事に参加している保護者や家族の雰囲気からこども園との間に信頼関係が築かれていることがうかがえた ・担任でない先生からも今日の様子を伝えてくれる (家とは違う一面も聞ける) ・Ⅱ-4同様家庭との連携は難しい面もあり、ご苦労されていますね ⑭・清沢小学校との連携は、自然な形でできているように思います。他園との交流もこども園より丁寧に行われていることがわかった ・他のこども園との交流にて、いつもより多くの人数で遊べて、いつもと違う遊びや更なる気づきが学べている ⑮・10月は全員「B」今回全員「A」の評価。連携はとれていると思います ⑯・こども園よりを通して、こども園の現在について、地域への情報発信ができていようと感じている ・今後、子どもの人数が減っていくことが心配です ・手作りカレンダーの配布は良い事ですね。コロナの関係で一般の方が気軽に園に足を運ぶ状況ではないと思いますが、何かの形で気軽に何えるようになるといいですね	・職員会議で次月の予定と今月の振り返りをセットで行う事を習慣化していく ・行事が終わり、時間が経過しないうちに振り返りを行うことで、課題が明確になっていき、こども理解や保育、遊びに繋がっているようにしていく
6 研 修	(1)研修体制の充実	⑪ 週1回の研修日を設け園全体研修、個人研修の時間の確保をし質の高い保育の実現をする	・園内での研修は外部講師や参観の温かいご指導もあり、学びあるものになったと感じている ・年間計画に基づき、週1回研修日をもって研修を進めることができた。公開保育で様々な意見をもらい、保育に生かしていくことが自己課題の解決に繋がっていた ・他の職員の考え方や思いを聞くことで、自分の考え方や思いを聞くことで、自分の考え方や思いを振り返ったり、目標にしていこうと繋げていきたいと思っている	A	A	⑪・園内での研修は外部講師や参観の温かいご指導もあり、学びあるものになったと感じている ・年間計画に基づき、週1回研修日をもって研修を進めることができた。公開保育で様々な意見をもらい、保育に生かしていくことが自己課題の解決に繋がっていた ・他の職員の考え方や思いを聞くことで、自分の考え方や思いを聞くことで、自分の考え方や思いを振り返ったり、目標にしていこうと繋げていきたいと思っている	・週1回園内研修を行い、研修テーマに添った内容の年間計画を立てて、進めていく ・子どもの姿、育ちを日常や会議の中で語り合いながら、研修テーマの手立てが適切になされているか確認する時間を持つ
7 教育・保育環境整備	(1)教育・保育環境の充実	⑫ 一人一人を認め「自分つてすごい」と子ども自身が感じ、自己肯定感を高めていけるように保育を行う	・ありのままの姿を子どもたちが出している。遊びを通して互いに認め合う場面も増え、自信や喜びに繋がってきている ・認め合う場を意識して作っていったことで子どもたちの自己肯定感が高まってきて色々な事に挑戦しようとする姿が見られるようになってきた ・お互いを認め合い、その子の全てを受け入れていけるようにしていく手立てや関わり方を常に考えていく	A	A	⑫・担任でない先生からも今日の様子を伝えてくれる (家とは違う一面も聞ける) ・Ⅱ-4同様家庭との連携は難しい面もあり、ご苦労されていますね ⑭・清沢小学校との連携は、自然な形でできているように思います。他園との交流もこども園より丁寧に行われていることがわかった ・他のこども園との交流にて、いつもより多くの人数で遊べて、いつもと違う遊びや更なる気づきが学べている ⑮・10月は全員「B」今回全員「A」の評価。連携はとれていると思います ⑯・こども園よりを通して、こども園の現在について、地域への情報発信ができていようと感じている ・今後、子どもの人数が減っていくことが心配です ・手作りカレンダーの配布は良い事ですね。コロナの関係で一般の方が気軽に園に足を運ぶ状況ではないと思いますが、何かの形で気軽に何えるようになるといいですね	・日々の子どもの姿を見取り、頑張っている姿や上手にいった時など、声をかけ、友達にも認めてもらえる場面を引き続き作っていく。また、育ちの場面等をドキュメンテーションや日誌に記録し、職員間で共有していく。
8 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	⑬ 保護者との信頼関係を築き、相互理解して子どもの育ちを支える	・多様性や、各家庭の教育方針もあり、家庭教育まで十分に入っていくことは難しく感じた ・送迎時、ドキュメンテーション、学年だより、園だより、家族参加会の懇談会やパワーポイントでの説明会を通して子どもたちの表れや育ちを発信したり、共有したりできた ・その子らしい育ちを認めていく上で、園と家庭との連携は不可欠。子どもの事だけでなく、会話を増やしていくには話しやすい、声をかけやすい雰囲気を作っていく事だと思う	B	A	⑬・多様性や、各家庭の教育方針もあり、家庭教育まで十分に入っていくことは難しく感じた ・送迎時、ドキュメンテーション、学年だより、園だより、家族参加会の懇談会やパワーポイントでの説明会を通して子どもたちの表れや育ちを発信したり、共有したりできた ・その子らしい育ちを認めていく上で、園と家庭との連携は不可欠。子どもの事だけでなく、会話を増やしていくには話しやすい、声をかけやすい雰囲気を作っていく事だと思う	・日常や行事、遊びの経過などをドキュメンテーションも利用し、子どもを通して家庭と繋がることを意識した発信の工夫をしていく ・子どもの姿や家庭での様子や悩みなど、日常的に伝え合っていく。また、保護者の集まる行事で教育保育を踏まえた子どもの育ちを伝え、家庭と共に子どもの育ちを支えていく必要性を伝えていく (パワーポイント、ドキュメンテーション)
9 近隣の学校との連携	(1)近隣の園との連携の推進	⑭ 近隣のこども園や小学校と子どもの育ちを情報交換や研修の中で共通理解していく	・5校交流の案内を自園に頂き、参加することで学びや子ども同士の様子がわかり、勉強になった ・近隣のこども園と積極的に交流をしている。また、小学校の先生に保育を見に来てもらった ・保育者が小学校の授業を見に行ったりして情報交換ができた ・小学校や交流館とのつながりがあることを行事を通して感じている	A	A	⑭・5校交流の案内を自園に頂き、参加することで学びや子ども同士の様子がわかり、勉強になった ・近隣のこども園と積極的に交流をしている。また、小学校の先生に保育を見に来てもらった ・保育者が小学校の授業を見に行ったりして情報交換ができた ・小学校や交流館とのつながりがあることを行事を通して感じている	・薬科学区との親睦、交流に積極的に参加していく ・次年度いっぱい、近隣の清沢小学校が閉校になり、中薬科小に合併となる為、接続を意識した交流を計画的に進めていく
10 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	⑮ 保護者や地域の方へ情報を発信して教育・保育活動への理解を深める	・地域の皆様の温かい支援もあり、園からの発信が届きやすかったように感じている ・お世話になっている近隣の施設やお店に手作りカレンダーを届け、子ども自身も地域との繋がりが感じられるようになってきた ・子どもの人数が少なくなっていく中で、地域の協力は必要だと思うのが難しいと感じる事もある	A	A	⑮・地域の皆様の温かい支援もあり、園からの発信が届きやすかったように感じている ・お世話になっている近隣の施設やお店に手作りカレンダーを届け、子ども自身も地域との繋がりが感じられるようになってきた ・子どもの人数が少なくなっていく中で、地域の協力は必要だと思うのが難しいと感じる事もある	・地域の中のこども園を意識し、園内、地域行事や園外保育を通じた交流計画を立て実施していく。また、交流の様子を園だよりに掲載し、地域に発信していく ・地域の方にも協力してもらいながら清沢マップを完成させ、配布していく (年間をかけて完成させる)